

フィスコリサーチレポーター渾身のレポートを皆様へ

銘柄分析レポート 4月号

今月の銘柄

佐藤 勝己	< 1882 >	東亜道路
小川 佳紀	< 2138 >	クルーズ
中村 孝也	< 2352 >	エイジア
村瀬 智一	< 2479 >	ジェイテック
田代 昌之	< 6339 >	新東工業

こんにちは。フィスコでリサーチレポーターをしている飯村真由、三井智映子、浜崎美保です。

フィスコリサーチレポーターは、フィスコのアナリストからアナリストとして必要な知識を習得するカリキュラムを受講し、金融や経済について専門的な知識を日々深めています。

今回はフィスコのアナリストである中村孝也さん、村瀬智一さん、佐藤勝己さん、小川佳紀さん、田代昌之さんに注目しておきたい銘柄のポイントを取材しました。

当レポートは月1回限りの配信ですが、レポートリリース後も注目銘柄として各アナリストがウォッチを続けます。メディア等にも情報配信を行う予定ですので、多くの方が注目銘柄として認識することによる相乗効果が期待できると思われます。ヤフーの株価予想に登場する可能性もあります。

私達リサーチレポーターの活動につきましては、下記のfacebookでもお伝えしています。

飯村真由facebook

<http://www.facebook.com/iimura.ma>

三井智映子facebook

<http://www.facebook.com/profile.php?id=100004302637336&fref=ts>

浜崎美保facebook

<http://www.facebook.com/MIHOJHO>

道路株には業績上方修正期待が高まる公算大

■何をしている会社ですか？

道路舗装業界の中堅企業の一社です。4月下旬からスタートする13年3月期の決算発表を控えるタイミングでは、道路株に上方修正期待が高まりやすいと考えられ注目したいと思います。

■注目するポイントは何ですか？

10-12月期決算では道路株の好決算が目立ちました。NIPPO<1881>が今期2度目の上方修正を発表したほか、東亜道路や大林道路<1896>も通期予想を上方修正しました。さらに、道路株は総じて4-12月期累計の増益率が通期予想の増益率を上回る傾向が強いため、各社ともにさらなる上振れ期待が残されている状況と判断できます。

■足元の業績動向はどうですか？

東亜道路に関しては、下半期営業利益計画32.3億円の67%を10-12月期で達成しています。公共工事のウェイトが高いため、同社は1-3月期に収益が膨らみやすくなる特徴があります。実際、前期の10-12月期の進捗率は下半期実績の34%に過ぎませんでした。現在

売買単位	1000株
4/1終値	320円
市場	東証1部
業種	建設

の1-3月期営業利益は前年同期比半減と大幅減益の見通しとなってしまったため、上方修正した計画もまだかなり保守的と指摘できるでしょう。

■そのほか伝えたい点がありますか？

最近では、国土交通省が道路やトンネルなどの老朽化対策の工程表をまとめ、総点検を来年3月末までに終わると伝わっています。潜在的な更新需要の顕在化が早まってくる可能性も高く、中期業績にとっての支援材料と捉えられます。信用買い残が高水準など需給面はネックですが、これは裏を返せば、個人投資家の関心が高い銘柄といえ、道路株のなかでも相対的に人気が高まりやすいでしょう。PBR水準は1倍を大きく割り込み、水準訂正余地は大きいとの期待も高まる可能性があります。



連結	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益
08.03	107,928	3.0	2,438	2,429	-	1,916	39.79
09.03	105,968	-4.2	1,804	1,404	-42.2	417	8.62
10.03	104,514	-1.4	6,258	5,873	318.3	2,761	56.91
11.03	91,230	-12.7	2,459	2,124	-63.8	848	17.47
12.03	103,156	13.1	2,715	2,330	9.7	1,853	38.12
13.03予	105,000	1.8	3,300	3,100	33.0	2,000	40.55

(百万円)

好業績のモバイルゲーム関連銘柄として注目

■何をしている会社ですか？

携帯向けのモバイルゲームのほか、ブログやネット通販などのインターネットサービスを幅広く展開しています。とくに、モバイルゲームが好調で、「くにおくん」シリーズのほか、「神魔×継承！ラグナブレイク」などのヒットタイトルを数多く抱えています。

■注目するポイントは何ですか？

13年3月期業績は、売上高が前期比51%増の135億円、営業利益が同2%増の20億円と増収増益が計画されています。注目は、2月に売上高の計画を110億円から135億円へと大幅に上方修正した点です。

■足元の業績動向はどうですか？

昨年10月にリリースした「アヴァロンの騎士」が、期待を上回っていることが追い風となっているようです。利益面は従来予想が据え置かれましたが、これは第4四半期に予定されている大規模プロモーションが背景であるため、来期以降の利益拡大に期待が高まります。

売買単位	1株
4/1 終値	154000円
市場	JASDAQ
業種	情報・通信

■そのほか伝えたい点がありますか？

最近では、ガンホー〈3765〉が、スマートフォン向けゲーム「パズル&ドラゴンズ」の好調を追い風に上昇を続けています。一方で、DeNA〈2432〉やグリー〈3632〉の株価は軟調です。今後は、ガンホーなどのように、オリジナルゲームに強みを持つモバイルゲーム関連株に選別物色の動きが強まるとみられ、同社は“第2のガンホー”の筆頭候補として注目されそうです。1月に年初来高値の205300円を付けて以降は調整基調が続いていましたが、足元ではリバウンドの動きを見せており、決算発表に向けて好業績期待を織り込みながらの株価上昇を予想します。



単独	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益
08.03	3,101	-11.3	291	293	6.9	150	4459.30
09.03	3,112	0.4	171	171	-41.6	87	2648.23
10.03	3,651	17.3	432	443	159.1	-29	-
11.03	5,282	44.7	1,130	1,129	154.9	656	5938.93
12.03	8,935	69.2	1,955	1,955	73.2	1,139	8965.54
13.03予	13,500	51.1	2,000	2,000	2.3	1,200	10307.38

(百万円)

エイジア 〈2352〉

株式会社フィスコ

品質改善作業の収束と好調な受注状況で成長軌道へ

■何をしている会社ですか？

企業向け電子メール配信システム大手で、「WEB CAS」シリーズの開発・販売及びサービスの提供を行っています。パッケージソフト市場で17%とトップシェア。

売買単位	100株
4/1値	860円
市場	東証マザーズ
業種	情報・通信

■注目するポイントは何ですか？

より市場規模の大きいクラウド市場においては、顧客のニーズに対応できるSaaS型クラウドサービスの提供が強み。2013年3月期に初めてパッケージソフトの売上高を逆転する見通しとなり、利益率は80%強とパッケージソフトの70%台より高いため、今後は全体の利益率向上も期待できそうです。

7.6億円に、営業利益を0.5億円から1.0億円に、一株当たり配当金を6.0円から6.5円へ、それぞれ上方修正しています。

■足元の業績動向はどうですか？

第3四半期累計の業績は増収減益決算となりましたが、その要因は前期に発生したソフト不具合による品質改善の実施であり、第2四半期までに終了しています。そのため注目すべきは第3四半期の業績です。売上高は前年同期比18.4%増の2.0億円、営業利益は同79.2%増の0.4億円と拡大し、成長軌道へ突入。受注状況は好調に推移しており、通期売上高を7.2億円から

■そのほか伝えたい点がありますか？

2014年3月期はクラウドサービスの続伸により業績がさらに成長する見通しで、売上高は9.0億円、営業利益は1.6億円程度と2桁台の増収増益が予想されています。海外事業に関してもタイやベトナムでのトップシェア確立に向けて少しずつ実績が出始めており、今後の成長加速が期待されます。

2352:週足

先週末、株価は急騰して一気に1000円台に乗せている。週初は売り圧力が強まったが、利益確定売り一巡で押し目を狙いたい。



単独	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益
08.03	669	25.1	-21	-19	-	-39	-
09.03	578	-13.6	-9	-9	-	-97	-
10.03	594	2.8	56	56	-	47	4647.30
11.03	616	3.7	65	66	17.9	66	7267.46
12.03	717	16.4	93	99	50.0	96	54.57
13.03予	760	6.0	100	105	5.9	30	16.64

高いスキルを持つ技術者に対する需要は底堅い

■何をしている会社ですか？

技術職知財リース事業(特定派遣及び請負・業務委託)が主力です。そのほか輸送用機器、半導体製造装置など機械設計開発や、ソフトウェアの自社開発及び開発受託を手掛けています。

■注目するポイントは何ですか？

主要取引先である大手製造業は設備投資に依然として慎重とみられますが、技術開発投資は継続しています。技術開発や製品設計に対応可能な高いスキルをもつ技術者に対する需要は高く、リース事業の稼働率は高い水準を維持しています。また、昨年10月にLIXIL〈5938〉よりシステム・エンジニアリング・オフィス(エル・ジェイ・エンジニアリングに商号変更)の株式を取得し、連結子会社化しました。エル・ジェイ・エンジニアリングは低層ビルから超高層ビルまでの建築物外装・内装に関する積算、設計などを展開しています。震災復興があまり進んでいないとの指摘もあるなか、復興関連需要といった建築分野での伸びが期待されます。

■足元の業績動向はどうですか？

第3四半期累計の業績は、売上が前年同期比

売買単位	100株
4/1終値	191円
市場	JASDAQ
業種	サービス

21.0%増の19.0億円、営業利益が同183.2%増の0.4億円。グループの主力事業である技術職知財リース事業は従来の機械・電気電子・ソフトウェア分野に加えて、新たに建築分野でのサービス提供が可能となり、一層の成長期待が高まりそうです。安倍内閣の経済政策への期待感から改善の動きがみられていることも追い風に。

■そのほか伝えたい点はありますか？

需給面では、3月末基準(29日)として1株を200株に分割し、併せて1単元を100株とする単元株制度を導入。これにより、投資単位当たりの金額はこれまでの2分の1となるため、流動性の向上や売買の活性化につながることを期待されます。



連結	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益
08.03	3,509	12.8	77	81	350.0	2	140.24
09.03	3,336	-4.9	-63	-61	-	-182	-
10.03	1,916	-42.6	-173	-82	-	-111	-
11.03	1,890	-1.4	-54	29	-	35	1710.12
12.03	2,114	11.9	37	48	65.5	34	827.57
13.03予	2,648	25.3	54	54	12.6	44	1074.36

(百万円)

シェールガス採掘におけるサンドコーティング設備に期待

■何をしている会社ですか？

自動車、造船、鉄道などの鑄造機械製造を展開しています。鑄造技術で培ったノウハウを核に、表面処理装置や環境装置といった分野にも事業を拡大してきました。また、話題の米国のシェールガス採掘におけるサンドコーティング設備(頁岩に開けた穴がふさがらないようにする技術)も手掛けています。

売買単位	100株
4/1 終値	792円
市場	東証1部
業種	機械

■注目するポイントは何ですか？

サンドコーティング設備を手掛けていることで、市場ではシェール関連銘柄の一角として位置付けられています。北米市場で同設備の販売が順調に推移しているほか、北米市場で新しく買収した航空機部品などの表面処理受託加工事業の伸長も期待できます。

いを考慮すると計画上振れが期待できます。また、政府主導のシェール関連政策も追い風となるでしょう。

■ 足元の業績動向はどうですか？

足元の業績では、第3四半期累計売上高は前年同期比 2.1%増の 612.2 億円、営業利益は同 21.1%減の 27.3 億円と営業利益ベースではさえない着地となっています。ただ、サンドコーティング設備の見通しは13年度も12年度と同じ水準の売上高 30-40 億円を見込んでいます。足元、増産体制が続く北米での強い引き合

■そのほか伝えたい点がありますか？

株価は25日線を割り込みましたが13週線がサポートラインとして機能しています。まずは昨年高値 944 円を意識した上昇が期待されますが、この水準はここ5年間の高値であることから、これをクリアすると上への動きが一気に強まりそうです。業績回復の期待に加え、PBRは0.6倍台と割安な水準に据え置かれていることで、08年以来となる4桁相場を期待します。



連結	売上高	前期比	営業利益	経常利益	前期比	当期利益	1株益
08.03	107,319	11.7	8,802	9,520	-1.3	5,016	91.91
09.03	97,164	-9.5	7,069	7,803	-18.0	3,328	61.06
10.03	68,269	-29.7	1,155	1,642	-79.0	569	10.45
11.03	74,437	9.0	4,204	4,304	162.1	2,315	42.53
12.03	83,073	11.6	4,962	5,620	30.6	2,843	52.37
13.03予	83,000	-0.1	3,900	4,000	-28.8	4,400	81.04

(百万円)

重要事項（ディスクレーム）

株式会社フィスコ（以下[フィスコ]という）は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪証券取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。

“JASDAQ INDEX”の指数値及び商標は、株式会社大阪証券取引所の知的財産であり一切の権利は同社に帰属します。

掲載される情報はフィスコが信頼できると判断した情報源をもとにフィスコが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、フィスコは保証を行っておらず、また、いかなる責任を持つものではありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、事前にフィスコへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは強く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは強く禁じられています。

フィスコが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。

本資料に掲載される株式、投資信託、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少する事もあり、価値を失う場合があります。

本資料は、本資料により投資された資金がその価値を維持または増大する事を保証するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

フィスコおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。

投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

株式会社フィスコ

発行所 株式会社フィスコ
発行人 狩野 仁志
編集人 フィスコ株式チーム

■お問い合わせ■
〒107-0062 東京都港区南青山5-4-30
CoSTUME NATIONAL Aoyama Complex 2F
株式会社フィスコ
電話:03-5774-2443 E-mail:support@fisco.co.jp

株式会社フィスコ